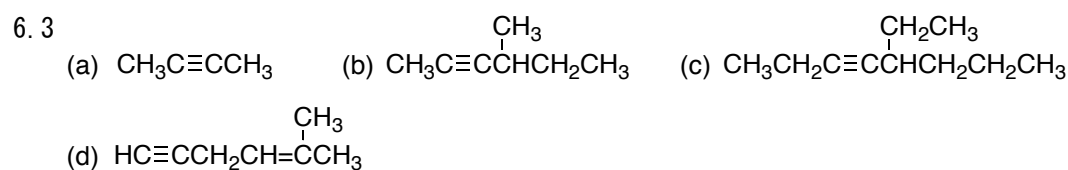
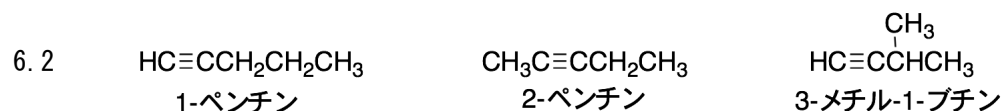


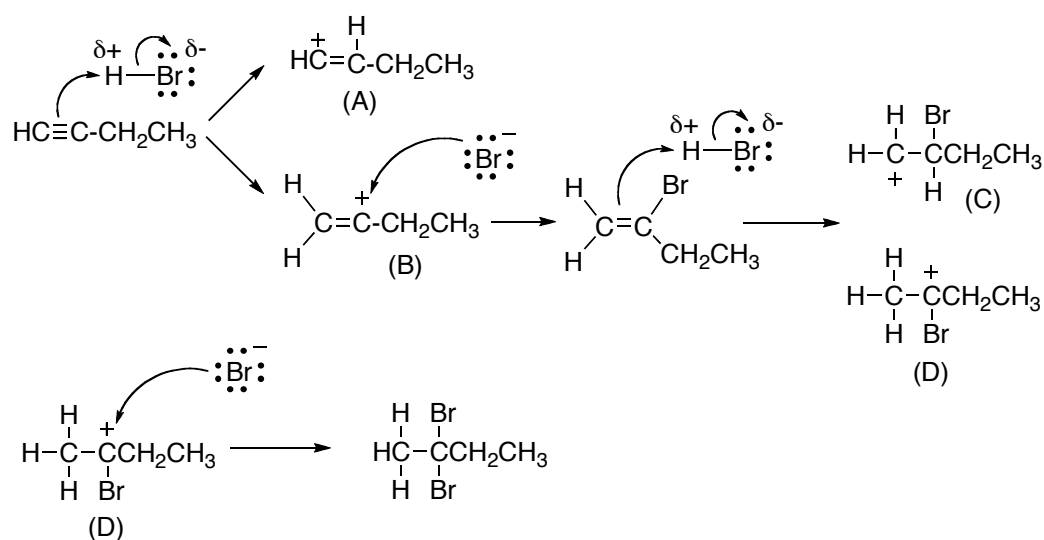
## 第6章 演習問題解答

6.1 p. 90 参照。

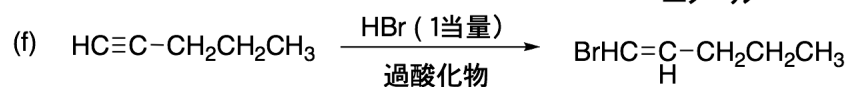
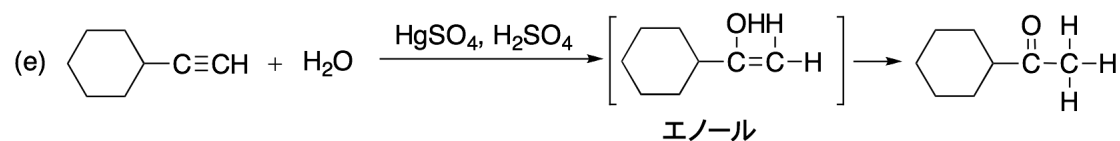
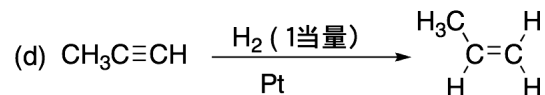
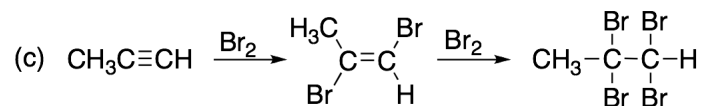
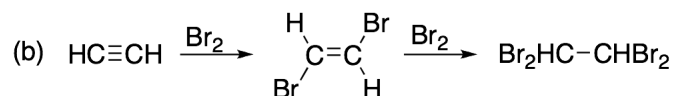
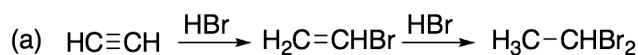
- (a) 2-ペンチン (b) 1-ペンテン-4-イン (c) 4-メチル-1-ペンチン  
(d) 5-ヘプテン-1,3-ジイン (e) 1,4-ヘプタジイン



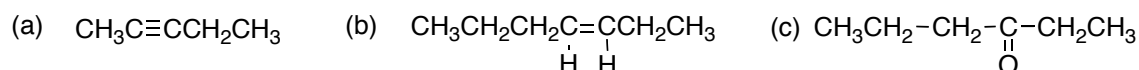
6.4 1-ブチンの $\pi$ 電子が分極した $\delta^+\text{H}-\text{Br}^{\delta-}$ のHを攻撃し、新しいC-H結合が形成される。Hが2位の炭素と結合すると中間体(A)が、末端炭素と結合すると中間体(B)が生成する。アルキル基はカルボカチオンを安定化するので (p. 71 参照), 中間体(B)は(A)より安定である。したがって、反応はより安定な中間体(B)を生成する方向に進み、これに臭化物イオンが求核攻撃する。このように、付加はマルコウニコフ則にしたがう。2当量目のHBrとの反応では、カルボカチオン(C)、(D)が考えられる。より安定な第三級カルボカチオン(D)を臭化物イオンが求核攻撃し、ジェミナルジブロモアルカンが生成する。



6.5 (a), (b), (c), (e) は p. 94, (d) は p. 96, (f) は p. 95 を参照。



6.6 いずれも p. 96 参照。



6.7 (a) は p. 94 ; (b), (d), (e) は p. 96 ; (c) は p. 96, p. 70 を参照。

